

科目	単位	時間	履修学年	講師名
母性看護援助論Ⅱ	1	30	2	
ねらい	妊娠・分娩期にある対象の看護に必要な看護技術を学ぶ。			
回数	授業内容			授業方法
1回目	11時間 1. 妊娠期における看護			講義
2回目	1) 妊婦の看護目標                      2) 健康診査と保健指導			講義
3回目	3) 日常生活と母親役割獲得への援助			講義
4回目	4) マイナートラブルへの援助			講義
5回目	2. 出生前診断を受ける人への看護・遺伝カウンセリング			講義
5.5回目(45分)	3. 不妊治療と看護			講義
	12時間			講義
1回目	4. 分娩期における看護			
2回目	1) 安全な分娩                              2) 安楽な分娩			
3回目	3) 分娩第1期の活動期                  4) 分娩第1期活動期終盤			
	5) 分娩第2期                              6) 分娩第3・4期			演習
4回目	5. 新生児期における看護			
5回目	1) 新生児の診断      2) 新生児の健康状態			
	3) 出生直後の看護    4) 出生直後から退院時までの看護			
6回目	6. 援助技術の実際			
	1) 外診(視診・触診・聴診・計測)			講義
	2) ノン・ストレス・テスト			
	3) 産痛緩和(補助動作・リラクゼーション)			講義
1回目	6時間			
2回目	7. 産褥期における看護			
	1) 褥婦の身体機能の回復と進行性変化への看護			
3回目	2) 産褥のセルフケアの不足に対する看護			
	3) 育児技術にかかわる看護			
	4) 家族関係再構築への看護			試験
15回目(45分)	5) 施設退院後の看護(育児不安と育児支援)			
	終講試験			
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 ②母性看護学各論 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間【45分間】:100点) :40点+40点+20点			